

CFTC建玉報告:円/ドル、ユーロ/ドル(5月11日時点)

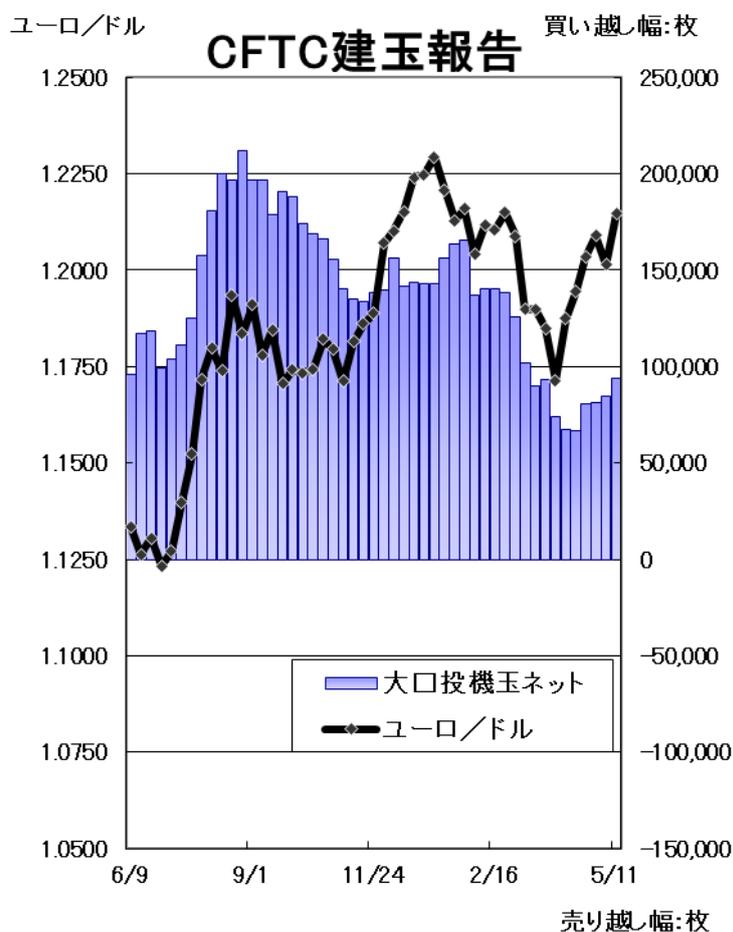
米商品先物取引委員会(CFTC)が14日に発表した建玉報告によると、11日時点のシカゴ・マーカンタイル取引所(CME)IMM通貨先物円(対ドル)相場の大口投機筋(非商業部門)のポジションの売越幅は4万1728枚と、前週比236枚拡大。期間中に、投機筋は売り買い共にポジションを減らし、売りポジションを増やした。

期間中の円(対ドル)は堅調。4月の米雇用統計で就業者数の伸びが市場予想に反して大幅に鈍化したことで米長期金利の指標となる10年物米国債利回りや、対主要国通貨でのドルが下落。米連邦準備制度理事会(FRB)当局者は、いかなる物価上昇も一過性のものとの見方を繰り返し表明。クリーブランド地区連銀のメスター総裁が、年末時点のインフレ率は2%を超えるものの、供給網の問題解消を受け来年は低下するとの見方を表明。フィラデルフィア地区連銀のハーカー総裁は、公衆衛生上の懸念と不十分な子育て支援のほか、産業部門ごとに回復が一様でないことが米労働市場の緩慢な回復の背景にあるとし、FRBは景気支援を継続する必要があるとの考えを示している。

期間中のユーロ(対ドル)は堅調。大口投機筋の買越幅は9万3907枚となり、前週比9078枚拡大。

4月の米雇用統計で、非農業部門の就業者数が市場予想を大きく下回ったことから、米利回りが下落。また、新型コロナウイルスのワクチン普及を背景にした欧州経済活動の再開への期待も根強く、欧米の金利差拡大を意識したドル売りユーロ買いが進行した。

日付	円/ドル		ユーロ/ドル	
	終値	枚数	終値	枚数
01/12	103.75	50,520	1.2207	155,890
01/19	103.89	50,014	1.2128	163,466
01/26	103.60	44,992	1.2160	165,344
02/02	104.97	44,629	1.2042	137,003
02/09	104.57	34,618	1.2117	140,222
02/16	106.04	37,182	1.2104	140,006
02/23	105.24	28,622	1.2149	138,365
03/02	106.67	19,270	1.2089	125,988
03/09	108.46	6,514	1.1898	101,964
03/16	108.98	-39,368	1.1900	89,976
03/23	108.56	-53,525	1.1849	93,322
03/30	110.34	-59,481	1.1714	73,739
04/06	109.74	-57,989	1.1875	67,522
04/13	109.05	-58,312	1.1946	66,851
04/20	108.08	-59,819	1.2033	80,808
04/27	108.68	-48,509	1.2090	80,967
05/04	109.33	-41,492	1.2013	84,829
05/11	108.61	-41,728	1.2146	93,907
前週比	-0.72	-236	+0.0133	+9,078



第一商品株式会社 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町9番1号 神泉プレイスビル 情報サービス部

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので投資勧誘を意図するものではありません。投資の最終的な決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い致します。レポートに記載の内容等は作成時点のものであり、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく修正、変更されることがあります。